

おれんげニュース

No302

2015年5月号



4月17日、久しぶりの晴れ間に歩いたら真崎川にこいのぼりがおよいでいた

今月の記事	事務局便り、36回定期総会、西海虚空蔵山、橘神社ととけん山 石割岳&平野岳
-------	--

	2015年5月	2015年6月	時 間	場 所
運営委員会	12日(火)	9日(火)	13:30~16:00	西諫早公民館
全体集会	27日(水)	24日(水)	19:00~21:30	

佐賀県の多布施川ぞいを歩く、みごとな桜並木でしたよ。



嬉野吉田の100年桜



大草の桜



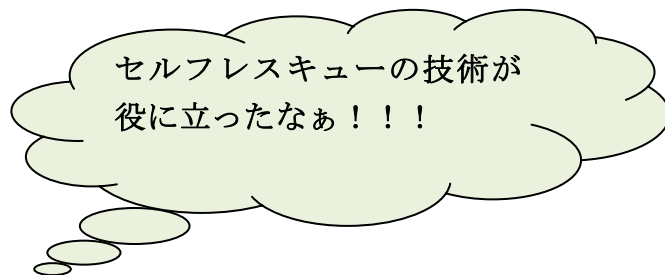


2015 / 5月の山行

部	ひまわり山行部	技術研修部	自然保護部	山行部
月/日(曜)	5/15(金)	5/9/10(土・日)	5/24(日)	5/31(日)
山名(行事)	九千部岳	諸塚山	長串山	天主山(1494m)
地 図	雲仙・島原	諸塚山	楠泊	緑川
集 合 場 所	西諫早駅 8:00	西諫早駅 7:00	諫早駅裏 7:50 西諫早駅 8:00	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30
難 易 度	初級	初級、	初級	中級
帰着時間	17:00	5/10の20:00	17:00	20:00
歩行時間	3.5h	9(3h)・10(4h)	3.0h	5.5h
交通手段	マイカー	マイカー	マイクロバス	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	テント泊	日帰り	日帰り
温 泉	有り	無し	有り	無し
参 加 費	1000円	10000円	3500円	5000円
申 込 期 限	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第	定員になり次第
集 約	金丸	佐原	山口	高森
備 考	ヒカゲツツジを見に行きます。田代原の牧場から登ります。春の花一杯見られるよ。	アケボノツツジを見に行きます。キャンプは車横付けの楽ちんキャンプです。	県下でも有名なツツジの名所です。人ゴミにまぎれて迷子にならぬよう	ヤマシヤクヤクが沢山あるので有名ですが一寸手ごわい登りです。
感想文提出	5/25	5/20	6/4	6/10

技術研修部だより

5月30日(土) セルフレスキュー 西諫早駅 9:30
 6月27日(土) " " "





2015 / 6月の山行

部	技術研修部	山行部	自然保護部	ひまわり山行部
月/日(曜)	6/7(日)	6/13(土)	6/21(日)	6/26(金)
山名(行事)	黒岩・泉水山	保口岳	多良岳(金泉寺)	長崎街道歩き
地 図	湯坪	葉木・椎原・柿迫・宮園	多良岳	長崎東北部・諫早南部
集 合 場 所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	西諫早駅 9:00	JR 諫早駅 8:20 JR 西諫早 8:24
難 易 度	初級・中級	中級	初級	初級
帰着時間	20:00	20:00	17:00	15:00
歩行時間	4h	5h	2.5h	4h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー	JR
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温 泉	牧場の湯	?	無し	無し
参 加 費	5000	5000	500	交通費のみ
申 込 期 限	定員になり次第	定員になり次第	6月18日	随時
集 約	佐原	高森	山口	林
備 考	ミヤマキリシマの美しい時です。色んな初夏の花もみることができますよ。	平家の官女だった玉虫御前の碑があります。別名鬼山御前と言ったらしい。	身近な所をきれいにします。ミツバツツジも咲いてることでしょう。	喜々津—花の木—基盤の辻—土師の尾ダム 歴史の道を紐解きながらの散策です。
感想文提出	6/17	6/23	7/1	7/6

4月4日(土) 第36回定期総会



事務局だより

事務局からの新しい提案や決定又は確認のための事項を順次お知らせしていきますが、本号では次の3点についてのお知らせと再確認をお願いします(会議等で詳細は説明します)。

1. 登山計画書と報告書

登山計画書は必ず事前に事務局に提出して下さい(個人山行を含む)。

提出されずに事故が発生した場合は、労山新特別基金の細則-2「山行規定」に抵触し救済の対象となりません。個人山行の場合も同様の扱いとなります。

オレンジハイキングクラブでは様式A、Bの2種類の計画書を運用します。

(1) 様式A

通常の山行(個人山行を含む)の場合に使用し、計画書と報告書は共用とする。フォームは事務局長に請求して下さい。

(2) 様式B

主に日本アルプスなど山岳登山(個人山行を含む)の場合に使用する。長野県、岐阜県、富山県、群馬県谷川岳では計画書(登山届)の提出が条例化されています。本クラブでは長野県大町警察署のフォームをアレンジして使用します。フォームは事務局長に請求して下さい。

登山計画書(様式A)

登山計画書(様式B)

2. 携帯すべき証書類

(1) 個人レスキューカード

昨年全体会議で提案され、各自作成し山行時携帯していると思いますが、未作成の会員は急ぎ作成されるか、事務局長に依頼して下さい(名刺大で作成)。

(2) 健康保険証コピー

(3) JWAF Membership Card

個人レスキューカード

個人レスキューカード

1. 名前	登山 九郎(ヤマ クロウ)
2. 住所	〒854-0074 諫早市山川町 31-1
3. 生年月日	1950/10/25(S25)
4. 血液型	A
5. 緊急連絡先	登山 衣弥子 ☎0957-10-2350
6. 服用薬・疾病	()アレルギー(無)

健康保険証コピー

裏

- *事故発生時の連絡(自力で救助不可の場合)
 - ①0-3は負傷者の状況を把握し各方面への連絡者を決める
 - ②119番/110番 or 山小屋へ通報、又緊急連絡先へ通報
- *消防、警察への連絡方法
 - ①0-3をなしました。救助をお願いします
 - ②事故の状況、発生場所、発生時刻
 - ③負傷者の氏名、年齢、性別、住所
 - ④通報者の氏名、電話など
- *事故が発生したら
 - ①負傷者の応急処置を行う
 - 止血・固定・心臓マッサージ・保温等を行い、安全な場所へ移動(負傷者の状況によっては移動禁止)
 - ②0-3が「0-3」をまとめ、発煙式・裝備等をせめて「0-3」に備える
 - ③電話で連絡不可の時は連絡員(複数)を下山(登山)させる
 - ④携帯電話は電池消費を考慮し複数準備しておく

オレンジハイキングクラブ 事務局長 鈴木 裕也 080-6428-8902



3. 山行予定の作成

期	技術研修部	自然保護部	ひまわり山行部	山行部
月/日(日)				
山名(山行部)				
地 区				
集合場所	求道野原	求道野原	求道野原	求道野原
難 易 度				
標高時間				
参加人数				
交通手段				
宿泊施設				
運 送				
参加費				
申込期間				
集 約	飯綱(21-8645)	山口(26-2729)	金丸(26-9814)	高森(24-0561)
備 考				
感想文提出				

運営委員会で2か月後の山行予定を討議していますが、内容は「おれんじニュース」に掲載する各月の山行(リスト)と同一フォームに記入して、「おれんじニュース」編集責任者に運営委員会終了時に提出願います。

フォームは事前又は会議時事務局長より各部に渡します。(事務局長 鈴木)

第 3 6 回 定 期 総 会

4/4 第 36 回定期総会が 32 名の出席で開会しました。議長に岩田氏、副議長林和子さん、書記に中野さんをそれぞれ選出し今年も 13 時、開会し 16 時に無事閉会しました。

有る程度の審議を全体集会で行っていたため午後からの総会でしたが議事は順調に進められ一部条例改正を除いては全て可決されました。

山行回数の表彰も行われました。セルフレスキューの参加者が上位を占めるのは例年通りでした。今年も例年と違う人も上位にいました。やはり勝因(笑)はセルフレスキューに出席したお陰だったようです。

役員もスムーズにきまり、本年度のスタートです。

全体のまとめとして川原氏から(福岡氏が所要で遅れての出席だったため)以下のような提案がなされました。

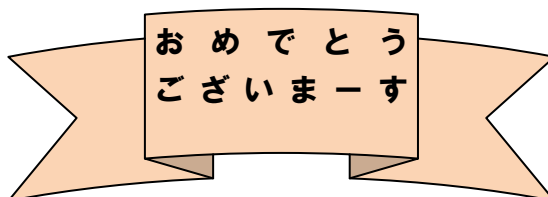
- 御嶽山の噴火が去年あったが、身近な山として普賢岳、阿蘇山があり、日本は火山国であるので、つねにその対応を考えておかなければならない。
- 自然保護部は石木ダム、諫早干拓、原発再開等の問題提起をしてはどうか
- 普賢岳の新道開通にむけて、要望をだして積極的に動いてはどうか?
- 金泉寺の存続はむずかしくなっている。

2015 年度役員、各部長、県連委員

- | | |
|----------------|------------------------|
| ★会長：福岡正廣 | ☆副会長：富永徳磨、佐原満子 |
| ★会計：田中静香 | ☆会計監査：中野美津子 |
| ★事務局長：鎗水律夫 | ☆次長：山下ちず子(兼おれんじニュース担当) |
| ★山行部長：鎗水律夫 | ☆副部長：林和子 |
| ★技術研修部長：川原慶紀 | ☆副部長：松岡正樹 |
| ★ひまわり山行部長：兵庫芳隆 | ☆副部長：林孝子 |
| ★自然保護部長：中里利行 | ☆副部長：野中勝廣 |
| ★県連理事：中須賀孝正 | ☆評議員：松岡正樹 |
| ★新特別基金担当：山口イツ子 | ☆女性担当：高森陽子 |

山行回数上位入賞者

- 1 位 川原慶紀
- 2 位 田中静香
- 2 位 山下ちず子
- 4 位 中須賀孝正



- 5 位 鎗水律夫
- 6 位 山口イツ子
- 7 位 高森陽子
- 7 位 福岡正廣

2015年3月/4月の山行報告



3月22日(日)

西海虚空蔵山 (306m)

(参加者) 川原・川内・工藤・小山・佐原・高森・田村・田中(静)・中須賀・中野・中里
野中・林(た)・林(か)・福岡・松田・森・鎗水・山口 小山(一般) 20名

(行程) 西諫早駅 8:10～針尾無線塔～新・旧西海橋～あらかぶ専門店(万十屋)～
みかんどーむ～虚空蔵山～みかんどーむ～猪垣(ししがき)～無窮洞～梅が枝酒造
～川棚潮さいの湯～西諫早

(感想) 今日は美味しい食べ物に詳しいだけでなく歴史にも詳しいガイド(?)のおかげで楽しい山行だった。「ニイタカヤマノボレ」を送信した施設として有名な(事実是不明)針尾送信所では保存会の説明を受けた。ここは土木技術や無線技術が高く評価され重要文化財に指定されている。虚空蔵山は急登もなくゆっくり山菜摘みしながら登ったが、さすが自然保護らしくゴミ拾いも忘れていなかった。無窮洞は第二次大戦中に校長の発案で高等部の生徒達が堀削したもので洞窟には教壇、台所、便所等が作られていた。「無窮」とは、きわまりがなく無限という意味だそうだ。最後はおまけで梅が枝酒造で試飲。美味しかった!

今回、感想担当に指名されましたが皆さんにお願いして車中で一言感想を寄せてもらいましたのを下記に列記しました。

:重要文化財となった針尾送信所旧跡を見たくて急遽参加しました。自然保護部から自然保護観光部(?)に改称した面目躍如、登山の印象ははなはだしく薄くなるような盛り沢山の計画でしたが、皆とても嬉しそうでした。こういうのも時には良いかな。(鎗水)

:針尾の無線塔は大正時代に作ったとは思えないほど良く保存され感動しました。ツワも沢山採れ嬉しかった。(森)

:針尾無線塔の技術力に感動、自分も技術屋として誇りを覚えた。また、あらかぶの味噌汁も最高だった。歴史、温泉、買い物?充実した一日でした。(工藤)

:ご苦労様!我が自然保護部の山行は中里部長のお蔭で食べる楽しみもあり毎回待ち遠しいです。あらかぶの味噌汁の美味しさは忘れられません。色々勉強にもなりました。(川内)

:無窮洞、針尾の無線塔等思わぬところの見学が出来て良かった。あらかぶの味噌汁は格別でした。(山口)

:自然保護らしい心温まる企画に満喫した一日でした。福岡生まれだから佐世保の事を知るチャンスに恵まれ嬉しかったです。ありがとうございました!(田村)

:針尾送信所や無窮洞は戦争というものをまざまざと感じさせるものでした。平和な今が子供や孫達の為にずっと続くのを願わずにはられませんでした。バラエティに富んだ観光バスツアーでした(?)楽しくてよかったです。(高森)

- : 虚空蔵山は知恵の神様です。「あらかぶに魅かれ登る虚空蔵山」 (中須賀)
- : 自然保護部長の心配りに感じ入りました。 (林か)
- : 初めて新西海橋を渡った。電波塔等勉強になった。 (福岡)
- : 私に合った山行でした。あらかぶの味噌汁も美味しかったです。 (佐原)
- : 針尾の無線塔、無窮洞に涙しました。感動いっぱいの山行でした。 (松田)
- : 歴史的勉強が出来た。二度とあの様な戦争は起こすべきでないと強く思った。 (野中)
- : 西彼半島の良いところ、埋もれているところをこれからも探していきたい。 (小山)
- : 誘いを受けて参加したが、とても良かったです。 (小山夫人)
- : さすが自然保護部です。針尾の無線塔、無窮洞に感動した。 (中野)
- : 3月22日西海虚空蔵山に自然保護部から行った。皆さんあらかぶの味噌汁に大感激。私も、もちろんですが この件は省略します
 一番印象に残ったのは 無窮洞「第二次世界大戦中に現市立宮小学校の防空壕とし掘られ終戦の日まで掘りつづけられた。掘ったのは先生に指導された高等部(今の中学生)がつるはしなどで掘り、女子が整形、下級生が運びを担当」に感動しました。平和の有難さ よい時代に生まれた幸せを感じました。又 今の時代豊すぎるような気もします。それから、梅が枝酒蔵に行きました。いろいろ試飲してみて冷やして飲む酒 生酒がおいしいように感じましたので私用にも買いました。アルコール13度ですから酔わないように、ちびりちびり晩酌してます。(林 孝子)
- : 西海の瀬戸を小型の発動機船で通過中、渦に巻き込まれ只一人助かったおじさんが隣に住んでいました。その事を思い浮かべて西海橋を渡りました。
 あらかぶの味噌汁付きと言った為、前の日コンロ、材料を準備していたが人数が多くなり、嬉しい悲鳴となり、急遽あらかぶ専門店「万十屋」にしましたが、皆さんに美味しいと喜んでもらえてよかったです。西海虚空蔵山が今回の山でしたが脇役になったようです。 (中里)
 (感想取りまとめ 田中静)



針尾送信塔の内部を見上げる



新西海橋を背景に



のどかな畑中に行く



無窮洞

橘神社ととけん山

(行 程) 8:20諫早バスターミナル→ 9:00橘神社前バス停→ 10:30同所発→ 10:40木場バス停→ 12:40とけん山→ 13:40同所発→ 14:10小浜バスターミナル付近→ 15:10小浜バスターミナル→ 16:15諫早バスターミナル

(参加者) 福岡、小山、佐原、山口、林(孝)、田中(静)、吉川、森、佐藤、外1名 (計 10名)

(感想) 諫早バスターミナルを8時20分発のバスに乗り、9時に橘神社前バス停に着き、そこで森さんらと合流した。

橘神社の駐車場には花見のシーズンには、朝早くから車が一杯停っているのに、今日は隅っこに2台停まっているだけで花見の人影も見当たらず、露店街は閑古鳥が鳴いていた。

それは桜の花が五分咲き位で花見には一寸早い時期だったからだろうと思われる。

私達は、橘神社にお参りし次に乗るバスまで時間に余裕があったので、橘神社の裏手の小高い山の山頂に小さな天守閣みたいな建物がある釜蓋城跡展望台まで登ることになり、しばらく登っていたら展望台下の広場に設置してあった遊具に皆は童心にかえり、シーソーに乗ったり、ぶら下がり器にぶら下がったりして楽しいひと時を過ごし、その後釜蓋城跡展望台へ、そこからの眺め大変素晴らしかったこと。

橘神社前バス停から木場バス停までバスに乗り、そのバス停から歩きだし、当初は歩き易い道だったが下りに差し掛かった途端石ころの多い山道を滑らないようにと注意し、「ホーホケキョ、ホーホケキョ」と鳴く鶯の声を聞きながら下り、山領という集落に着いた。

そこから国道をてくてくと歩き、小浜の温泉街に着き、そこからとけん山へ、とけん山の桜も満開に近いのもあったが、殆んどの桜は七分咲き位で花見客も一組(二人)と言う有様。木場から歩きどうしだったので、疲れもピークに達していた。とけん山の桜の木の下で、弁当を食べ、近くの生目八幡宮にお参りし、13時40分下山を始め、14時10分頃小浜バスターミナル付近の東屋に着いた。

諫早行のバスの時刻が15時10分だったので、15時に上記のターミナルに集合、それまでにはご自由にとのことで、風呂に入る人、足湯に行く人、買い物に行く人と別れて行動し、全員15時10分発のバスに乗り、森さんらとは橘神社前バス停でお別れし、16時15分に諫早バスターミナルに着いた。

今回は桜の花は、三分咲きとか七分咲きとかで満足できるものではなかったが、天気は良かったし、鶯の鳴き声を聞きながら、和気あいあいと楽しい一日を過ごさせてもらいました。(佐藤 記)



4月12日(日)

石割岳&平野岳

(参加者) 川原、野中、松岡、小山、中須賀、佐原、林(和)、林(孝)、松田、高森、田中(静)、中野、下釜、田村、山下(ち)、山口 (16名)

(行程) 西諫早駅 6:30—広川 IC—県道 52 号線八女市立星野中学校—八女市星野支所前交差点(南東へ)—県道 57 号線—9:00 九重の花バス停(右折)—三坂橋渡る—石割岳ふもとキャンプ場—9:30 石割岳憩いの森・登山口—9:45 登山開始—10:15 五合目(下山ルートと合流地点)—10:45 石割岳頂上—11:25 平野岳—12:00 石割岳(昼食)—12:30 別ルートを下山 13:00 五合目—13:20 登山口—14:15 星の温泉館きらら—広川 IC—17:30 西諫早駅

(感想) 16名は諫早駅裏 6時20分、西諫早駅前から 6時40分出発、マイクロバス(新車)で諫早インター、広川インター、県道 52 号線、八女星の村支所、県道 57 号線、九重の花バス停(右折)、石割岳ふもとキャンプ場、石割岳憩いの森、登山口へと走る。

車中からは星の川、滝、八重桜、茶畑を見ながら目的地に着く。

体操、ストレッチをし、いよいよ登山開始、五合目分岐から上り道、名前の通り割れた石が苔むした、石段の登山道を上る。石割岳頂上(941.5m)では山さくらが咲いていた。ここは山桜が群生していた。近年の台風等により激減したそうです。

さあ!平野岳へ全員縦走することになりました。平野岳は最初、下り道、急な道です。ちょっとひやひやしながら下ってそして上りました。山頂は木々も芽吹き一帯は新緑の景色。ここから石割岳へ戻りここで全員で昼食にする。見渡すと山登りの方々が多数見えていた。休憩が終り下山です。途中では可憐に咲いているハルリンドウ、ヤマドリソウ、ミツバツツジが見られて感動でした。マイクロバスで星の温泉館きららへ移動。疲れを癒して諫早への帰路に着きました。全員無事に下山でき、ありがとうございました。リーダーの皆さんお世話になりました。

(松田 記)



石割岳登山



石割岳への登山道はまず舗装道路でした。



ここからはいりま一す。



歩きやすい道です。



新緑が芽吹いて綺麗です！

おやつタイムで一す。



なんだ坂こんな坂！

少し上りが急になりました。



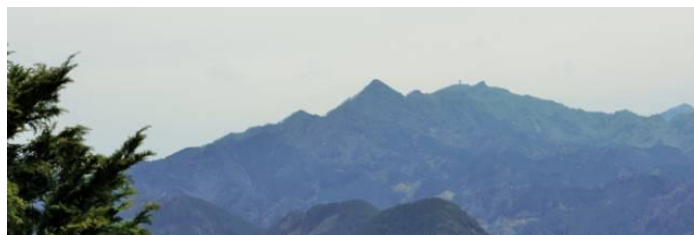
まず、遠くの景色を眺めて次へ



平野岳からの眺め
遠くに日向神ダムが
みえます。
八女津媛岩もみえま
したよ。ヤマザクラ
もここでは綺麗にさ
いていました。



釈迦ヶ岳、御前岳・石割岳からの遠望



おれんじニュース 302	
発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡正廣
編集責任者 及び 編集委員	山下ちず子 福岡正廣、兵庫芳隆、中野美津子、 山口いつ子、林 和子 山下文代、鎗水律夫(事務局長)
発行年月日	2015. 4. 29
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.com/

編集後記

事務局で長くおれんじニュース発行を手伝ってきましたが、今度ひまわり山行部へ替わりました。だが毎回奮闘している山下編集長から「編集員として残ってて」と頼まれればイヤとは言えないでしょう。

おれんじニュースがインターネットで全国に配信されていることを思えば、記事にミスがあつてはいけない。

従来通り校正に力を入れています。
(兵庫芳隆)